

6 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

(1) 千葉の魅力の向上と活用

○地域づくり推進事業〔再掲〕（地域づくり課） 12,000千円（R4 12,000千円）

県内各地域において、それぞれの地域が持つ特性や強みを活かし、地域の活性化に向けた取組を推進していくため、県、市町村、地元関係者等が連携して地域振興策を検討します。

○移住・定住促進事業【一部新規】〔一部再掲〕

（地域づくり課、観光企画課、雇用労働課） 49,922千円（R4 35,000千円）

二地域居住を含めた移住・定住を促進するため、インフルエンサーによるSNS発信事業や都内での本県専任の移住相談員の配置を継続して実施します。令和5年度は県内各市町村の移住関連情報等を一元的に発信するポータルサイトを新たに作成し、情報発信を強化します。

[主な事業]

1 情報発信の強化

- ・移住に係るポータルサイトの作成【新規】 22,866千円
- ・二地域居住SNS発信事業 6,000千円
移住検討者に二地域居住を体感してもらうため、インフルエンサーが実際に体験し、その様子や感想をSNSにおいて発信します。
- ・移住に関する相談会やイベント等の開催 6,479千円

2 相談・受付体制の確保

- ・千葉県専属相談員の配置 8,600千円

○副業人材マッチング支援事業【新規】（地域づくり課） 13,000千円

少子高齢化や人口減少が進む県内の各地域において、地域活性化や関係人口の増加を図るため、地域企業等と豊富な知識・経験等を有する副業人材をマッチングし、地域の課題解決に資する企業等の取組を支援します。

[対象地域]

県内7地域（香取、海匝、山武、長生、夷隅、安房、君津）

[本事業の対象となる地域企業等の取組]

- ・関係人口、二地域居住、移住・定住の増加に資する取組
- ・地域を代表する物産の開発・生産など、地域のブランド形成に資する取組 等

○千葉の海の魅力発信事業【一部新規】〔一部再掲〕 165,000千円（R4 95,500千円）

三方を海に囲まれた千葉県の地理的・文化的特性を活かし、千葉県の宝である海の魅力を県内外に広く発信します。令和5年度は、新たに「千葉の海・大使」を任命するなど、魅力発信を一層推進するとともに、県内の小学生が本県の海にまつわる歴史・文化等を学ぶための副読本を制作します。

[事業内容]

1 「千葉の海・大使」等を活用した魅力発信【新規】（文化振興課） 10,000千円

統一感のある魅力発信を一層推進するため、「千葉の海・大使」を任命するほか、本県の海の魅力をPRする新たなデザインやイメージカラーを周知・活用していきます。

2 千葉の海と水辺の魅力発信事業〔再掲〕（地域づくり課） 50,000千円

本県の「海」や「水辺」が持つ多様な魅力に注目し、誌面広告等を活用して、県内外にその魅力を発信していきます。

3 GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業〔再掲〕（観光誘致促進課）

50,000千円

千葉県への誘客をさらに促進するため、千葉の海や歴史、文化などのスポットを巡ると、抽選で県産品等、魅力的な賞品が当たるデジタルポイントラリーを実施します。

4 新しい千葉の食文化創生事業〔再掲〕（流通販売課） 30,000千円

県産農林水産物の持つ素材の良さを生かしつつ本県のイメージアップにつながる「千葉料理」として、令和4年度にコンセプトを策定した「黒アヒージョ」について、認知度の向上に向けた取組を実施します。

5 海の副読本制作事業【新規】（学習指導課） 25,000千円

県内の小学生が郷土への興味関心を広げ、ふるさと「ちば」の価値を再認識するきっかけとするため、本県の海にまつわる歴史や文化、産業等を学ぶことができる副読本を電子ブックで公開し、授業等で活用します。

○ちばワーケーション受入促進事業〔再掲〕（観光企画課） 77,700千円（R4 70,000千円）

新たな旅のスタイルであるワーケーションは、個人のニーズが高いものの、企業での制度導入が進んでいないことから、モニターツアーを通じて企業と受入地域のマッチングの機会を提供するとともに、情報発信などにより導入の促進を図ります。併せて、受入環境を整備する地域の取組を支援します。

〔事業内容〕

1 ちばワーケーション受入促進事業 17,700千円

〔実施内容〕

- ・ ワケーションのプログラム作成支援やモニターツアー
- ・ ワケーション誘致のための情報発信

2 ちばワーケーション環境整備事業補助金 60,000千円

〔事業主体〕

- ・ 市町村、観光協会、同業組合（例：民宿組合など）
- ・ 宿泊事業者を核として関係者で構成された継続的事業実施が見込める団体

〔補助率〕 2/3 以内

〔補助限度額〕 10,000千円

〔補助対象経費〕 地域においてワーケーションの受入環境を整備するために要する経費

- ① 地域内関連施設における受入環境を整備する費用
- ② 地域におけるワーケーション環境について情報発信するために要する費用
- ③ ワケーションの実施を検討する企業等と連携したモデル事業の実施費用
- ④ ワケーションの地域理解を促す勉強会等の開催費用

○千葉のブランド形成推進事業〔再掲〕（地域づくり課、観光企画課）

225,000千円（R4 244,000千円）

千葉県の知名度やイメージを高め、県内各地域のブランドを形成するため、テレビ、ラジオ、誌面広告による広報のほか、チーバくんを活用した情報発信等により、千葉の魅力を県内外に発信します。

〔主な事業〕

・ テレビ（在京キー局）による映像情報発信	87,618千円
・ ラジオを活用した情報発信	40,524千円
・ 誌面広告による情報発信	20,000千円
・ チーバくんによる情報発信	35,195千円
・ 観光物産情報ラジオ番組	6,000千円

○世界に向けた千葉の魅力発信推進事業〔再掲〕（国際課）

40,000 千円（R4 50,000 千円）

千葉の魅力を世界に発信するため、観光地や食、文化を紹介するPR動画の配信や、チーバくんを活用した情報発信に取り組みます。

〔主な事業〕

- | | |
|---------------------------|----------|
| ・ SNS、チーバくんを活用したプロモーション | 24,959千円 |
| ・ 世界に向けた千葉の魅力PR動画の配信 | 8,800千円 |
| ・ 海外現地メディアを活用した海外への情報発信事業 | 2,721千円 |
| ・ 成田空港ターミナルビルへの歓迎メッセージの掲出 | 3,520千円 |

(2) 環境の保全と豊かな自然の活用

○県庁舎照明のLED化事業（管財課）

41,593千円

省電力化により脱炭素社会の実現に貢献するとともに、財政負担の軽減を図るため、県庁舎（本庁舎、中庁舎、南庁舎、議会棟）の照明をリース方式により一括してLED化します。

[照明灯数] 26,587 個（うちLED化済み 595 個）

[削減効果（見込）] 二酸化炭素排出量 約 723 トン/年（約 1,102 トン→約 379 トン）

費用削減効果 約 37,000 千円/年

○住宅用設備等脱炭素化促進事業【一部新規】（温暖化対策推進課）

418,000千円（R4 338,000千円）

家庭におけるCO₂排出量削減や災害時における電源の確保を図るため、燃料電池（エネファーム）や蓄電池等の設置経費や、電気自動車やV2H充放電設備の導入に対し、引き続き助成します。また、新たに、電気自動車の導入が進まない集合住宅における充電設備の導入経費についても支援の対象に加えます。

※V2H充放電設備…電気自動車等に蓄えた電力を家庭で使用するための設備

[補助先] 市町村（県補助は市町村を通じて実施）

[補助対象]

- | | |
|------------------|------------|
| ・家庭用燃料電池（エネファーム） | 70,000 千円 |
| ・家庭用蓄電池 | 210,000 千円 |
| ・太陽熱利用システム | 1,000 千円 |
| ・窓の断熱改修 | 28,000 千円 |
| ・電気自動車等 | 63,000 千円 |
| ・V2H充放電設備 | 30,000 千円 |

（集合住宅のみ対象）【新規】

- | | |
|--------------------|-----------|
| ・電気自動車用充電設備 | 15,000 千円 |
| ・住民の合意形成のための資料作成経費 | 1,000 千円 |

○事業者向け脱炭素化促進事業【新規】（温暖化対策推進課）

565,000 千円

本県の産業部門におけるカーボンニュートラルに向けた取組を推進するため、中小企業等の省エネ診断の受診費用や、診断結果等に基づいて実施する設備更新費用の一部を助成します。

また、事業者等が建築する事務所等についてZEB等の導入に係る設計費用等の一部を助成します。

※ZEB…Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物

[事業内容]

1 業務用設備等脱炭素化促進事業 520,000千円

[補助対象] 県内で事業を行う中小企業等で、「CO2CO2スマート宣言事業所登録制度」に登録する者

[対象経費]

- ・省エネ診断の受診費用
- ・省エネ等に資する設備の導入費用

[補助率等]

	補助率	補助限度額
省エネ診断に基づく事業	1/2	1事業者当たり1,000万円
簡易自己診断に基づく事業	1/4	1事業者当たり 500万円

※同一事業者でも複数事業所分の申請可

2 業務用建物脱炭素化設計支援事業 45,000千円

[補助対象] 県内で国のZEB化等支援制度の対象となる建築物の新築等を行う事業者

[対象経費]

- ・ZEB等にかかる設計検討及び省エネ計算に要する費用（上乗せ設計費）等

[補助率等]

補助対象施設	補助率	補助限度額
①延床面積が300㎡以上2,000㎡未満	1/2	150万円
②延床面積が2,000㎡以上	1/2	300万円

○事業者向け次世代自動車等導入促進事業【新規】（温暖化対策推進課） 70,000千円

運輸部門における脱炭素化を進めるため、タクシーやバス、シェアリングカー等に次世代自動車を導入する場合の車両等の導入経費について助成します。

また、中小事業者が燃料供給設備等の次世代自動車用設備を導入する際の経費についても助成します。

[事業内容]

1 地域交通等向け次世代自動車導入補助金 50,000千円

[補助対象] 県内に営業所・事業所を有する者 ※太陽光発電設備の併設が条件

[対象経費] ① 次世代自動車の購入費

② ①にかかる設備（蓄電池・燃料供給設備）の購入費

[補助率等] ① 国の補助額の1/2

② 蓄電池（購入費の1/6：上限40万円）

燃料供給設備（購入費の1/3：上限30万円）

2 中小事業者向け次世代自動車用設備補助金 20,000千円

[補助対象] 県内の中小事業者等 ※太陽光発電設備の併設が条件

[対象経費] 蓄電池、V2H、燃料供給設備、外部給電器（可搬式）の購入費

※車両購入費は対象外

[補助率等] 1/10（上限25万円）

○観光地におけるEV急速充電スタンド導入促進モデル事業【新規】（温暖化対策推進課）
1,500千円

自動車を利用した観光需要が高い地域において、充電設備の設置促進やEV（電気自動車）を利用する観光客向けの特典を企画するとともに、充電場所や特典情報のWEBサイトを作成するモデル事業を実施します。

[事業内容]

- ・地域の観光施設等におけるEV用の急速充電器の設置、EVを利用する観光客向けのサービス提供の実施に向けた事業者等との調整
- ・上記の設置状況やサービスの実施状況を反映した、旅行者向けのPR活動の実施

[対象地域] 安房地域（想定）

○カーボンニュートラルコンビナート事業【新規】〔再掲〕（産業振興課） 30,000 千円

京葉臨海コンビナートを、日本をリードするカーボンニュートラルコンビナートへ転換する取組を促進するため、立地企業等で設置した協議会を運営するとともに、業種を超えた企業間連携のプロジェクトの推進に必要な調査等を実施します。

[主な業務内容]

- ・企業間連携のプロジェクトを推進するための調査、分析
- ・京葉臨海コンビナートにおける将来像の検討

○海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業【一部新規】〔再掲〕（産業振興課）
37,000 千円 (R4 6,000 千円)

洋上風力発電について、適地である太平洋沿岸地域において地元の合意形成を図りながら導入の検討を進めるとともに、県内企業の洋上風力発電関連産業への参入を促進するため、セミナーやビジネスマッチング商談会を開催します。

また、洋上風力発電の導入を、関連産業の集積など地域経済の活性化に繋げていくための基礎調査を行います。

[主な事業]

- ・導入可能性検討会議等の実施 4,815 千円
- ・ビジネスマッチング商談会等の開催 2,060 千円
- ・地域経済の活性化に繋げていくための基礎調査【新規】 30,000 千円

○物流等における水素利活用モデル構築検討事業〔再掲〕（産業振興課）
30,000 千円 (R4 10,000 千円)

ゼロカーボンの実現に向けて、新たなエネルギーとして期待される水素について、今後まとまった需要が見込まれる物流事業及び地域交通事業などにおける動向や、効果的な供給方法等を県内の複数の地域で掘り下げて調査します。

[調査内容]

- ・物流事業等における潜在的な水素需要の調査
- ・水素の供給方法等の検討
- ・社会実装に向けた課題等の整理

○ゼロカーボン促進信用保証料補助金〔再掲〕（経営支援課）

10,000千円（R4 10,000千円）

県内中小企業のカーボンニュートラルの取組を支援するため、中小企業振興資金を利用して設備の導入等を行う場合に、信用保証料の一部を助成します。

〔補助対象〕 中小企業振興資金（環境保全資金）のうち、ゼロカーボン促進事業を利用する中小企業者

〔補助率〕 利用者が負担する信用保証料の1/2

○CO₂ゼロエミッション技術支援事業〔再掲〕（安全農業推進課）

4,000千円（R4 4,000千円）

脱炭素社会の実現のため、野菜などの作付けの間の休閑期に緑肥を栽培し、地中にすき込むことにより、土壌への炭素貯留を促進し、化学農薬・肥料の使用量の削減に取り組む産地に対し、その経費の一部を助成します。

〔実施主体〕 緑肥を新規又は拡大導入する野菜産地の生産組織

〔補助要件〕 県が定める化学農薬・肥料の使用量の2分の1以下で栽培していること

〔補助率〕 2,000円/10a（定額）

○環境保全型農業直接支援対策事業〔再掲〕（安全農業推進課）

47,300千円（R4 47,830千円）

化学農薬・肥料の使用を2分の1以上低減したうえで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者グループ等に対し、取組面積に応じて交付金を交付します。

〔交付金単価〕 堆肥施用4,400円/10a、有機農業14,000円/10a等

〔負担割合〕 国50%、県25%、市町村25%

〔予定面積〕 600ha

○野生鳥獣総合対策事業【一部新規】〔再掲〕（自然保護課）692,761千円（R4 669,168千円）

野生鳥獣による農業被害・生活被害を防止するため、市町村が実施する有害鳥獣捕獲事業への助成を行うとともに、イノシシ及びニホンジカについては生息域拡大を防止・縮小させるため、県が捕獲事業を実施します。

令和5年度は、捕獲の強化や担い手の確保・育成を図るため、県内外の狩猟免許取得者等を対象に、新たに「(仮称)千葉県有害鳥獣捕獲協力隊」を結成します。

○イノシシ等有害獣被害防止対策事業〔再掲〕（農地・農村振興課）

393,172千円（R4 393,172千円）

イノシシなど有害獣による農作物被害を防止するため、市町村等で構成する「対策協議会」が実施する防護柵の設置や捕獲機材の購入などについて助成します。また、地域と協働して、農作物被害を低減させるための効果的な対策手法を検証するとともに、被害対策に取り組むための体制構築を支援します。

○外来種特別対策事業（自然保護課）

157,755千円（R4 147,400千円）

生態系や農林水産業等への影響を及ぼすおそれのある特定外来生物について、計画的な防除や生息状況調査を実施します。令和5年度は、生息数が増加しているキョンについて、より効果の高い捕獲方法の開発・実証に取り組みます。

[主な事業]

・キョン（捕獲・調査）	36,694千円
・アカゲザル（捕獲・調査）	58,262千円
・カミツキガメ（捕獲）	41,492千円
・アライグマ（調査・わな貸出等）	16,247千円

○湖沼における外来水生植物対策事業（水質保全課）

329,316千円（R4 249,674千円）

ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの外来水生植物が印旛沼及び手賀沼とその流域河川で急速に繁殖しており、水質・生態系などへの影響や農業・漁業被害などが懸念されることから、引き続き計画的な駆除を進めるとともに、独自に駆除に取り組む市民団体に対し活動に要する経費を助成します。

[事業内容]

・手賀沼及び流域河川における計画的駆除	216,735千円
・印旛沼及び流域河川における計画的駆除	102,542千円
・市民団体における外来水生植物防除事業補助	10,039千円

○若者が主役の環境保全活動応援事業【新規】（循環型社会推進課） 3,500千円

将来を担う若い世代が環境保全活動の主体となる機会を創出するため、地域や社会が抱える課題に対して、若者自らの創意工夫による企画を募集し、その活動を企業や団体等と協力して支援します。

[事業内容]

- ・若者と協力して解決したい課題を企業等に募集
- ・課題に対して、若者が主体となって構成する団体から具体的な活動内容の応募
- ・採用された団体に対して、県が活動費を支援（1団体50万円：最大3団体）
- ・課題を募集した企業等が活動場所等を提供

○海岸漂着物対策推進事業（循環型社会推進課） 89,643千円（R4 77,725千円）

海岸における景観や安全性を守るため、国の補助金を活用し、海岸漂着物の回収・処理や発生抑制に向けた啓発等を実施します。

[主な事業]

- | | |
|----------------------|----------|
| ・重点区域における海岸漂着物の回収・処理 | 59,000千円 |
| ・市町村が実施する事業への間接補助 | 24,452千円 |
| ・モニタリング調査 | 4,074千円 |

○生活排水対策浄化槽推進事業（水質保全課） 230,000千円（R4 230,000千円）

市町村が実施する、単独処理浄化槽・くみ取り便所から合併処理浄化槽への転換や、高度処理型合併処理浄化槽の設置を促進する事業に対し助成します。

[補助先] 市町村

[補助率]

- ・個人設置型 1/3
- ・市町村設置型 4/30
- ・高度促進補助 1/2
- ・転換に係る撤去・配管費用 1/2

○産業廃棄物不法投棄監視等事業（廃棄物指導課） 87,000千円（R4 82,000千円）

産業廃棄物不法投棄の早期発見・未然防止のため、県内全域を対象とした24時間365日対応の監視パトロール及び不法投棄等が行われている可能性が高い箇所への集中監視業務を実施します。

[事業内容]

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ・不法投棄等の不適正処理等に係る監視パトロール | 75,657千円 |
| ・産廃・残土110番に係る対応業務 | 1,427千円 |
| ・不法投棄等が行われるおそれの高い箇所におけるスポット監視業務 | 9,916千円 |

(3) 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

<千葉県誕生 150 周年記念事業>

○千葉県誕生 150 周年記念事業の開催（市町村への補助金）（文化振興課） 467,000 千円

本県ならではの文化資源や魅力の発信を通じて、千葉のブランド価値の創出・向上や地域活性化につなげるため、県内市町村が企画・実施する記念イベントに対し、補助金を交付します。

[補助割合] 補助対象経費の1/2以内

[補助上限] 人口5万人以上の市 10,000千円

人口5万人未満の市町村 5,000千円

※千葉の自然環境や「ちば文化資産」を活用する取組、複数団体による広域的な取組には加算を行います。

○「県民の日」事業（文化振興課） 75,000 千円（R4 75,000 千円） （債務負担行為 38,000 千円）

幅広い世代の県民が、「県民の日」を通してふるさと千葉の魅力を再発見できるよう毎年開催している記念行事について、令和5年度から6年度にかけては、千葉県誕生150周年記念事業の一環として実施します。令和5年度は、県民参加・体験型のオープニングイベントを松戸市で開催するとともに、県内各地で地域行事を開催します。

[事業内容]

- ・オープニングイベントの開催 35,000 千円
- ・地域行事の開催 37,000 千円
- ・「県民の日」の広報 3,000 千円
- ・令和6年度事業の準備（フィナーレイベント等）（債務負担行為 38,000 千円）

○千葉県誕生 150 周年記念・株式会社オリエンタルランドとの連携事業【新規】 （文化振興課） 11,000 千円

千葉県誕生 150 周年を記念して、株式会社オリエンタルランドと連携した文化イベント等を実施します。

○オランダとの文化交流事業【新規】（文化振興課） 20,000千円

東京2020大会を契機に、本県がホストタウンとなったオランダ王国との文化交流を深めるため、千葉県誕生150周年記念事業として、同国出身の世界的アーティスト、テオ・ヤンセン氏の企画展を県立美術館で実施します。

[開催時期] 令和5年10月～令和6年1月（予定）

[展示構成] アートと科学の融合をテーマとした造形作品 等

○千葉県誕生 150 周年記念コンサート【新規】（文化振興課） 5,000 千円

県内唯一のプロオーケストラである千葉交響楽団による記念コンサートを実施します。

[内訳] 補助金 5,000 千円

[予定] 令和5年12月（会場：市原市市民会館）

○中央博物館特別展の開催（文化振興課） 34,600千円（R4 26,000千円）
（債務負担行為 20,000千円）

千葉県誕生 150 周年記念事業の一環として、中央博物館において特別展を開催します。

[事業内容]

- ・令和5年度特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」の開催 30,000千円

[開催時期] 令和5年7月中旬～令和5年9月中旬の66日間（予定）

[展示構成] ナウマンゾウなど全身復元骨格、地層及び化石による房総半島の地層の成り立ち、チバニアン期の大地・海（3種のゾウ、トドなど海洋哺乳類の化石）等

- ・令和6年度特別展「海のお祝い 万祝（仮称）」の開催準備 4,600千円

[開催時期] 令和6年7月中旬～令和6年9月下旬の64日間（予定）

[展示構成] 県内外約10機関が所蔵する万祝類似資料、万祝見本帳、万祝製作関連資料、万祝式大漁旗、浮世絵、古写真、古文書等

○千葉県誕生 150 周年記念誌の作成【新規】（文化振興課） 3,000 千円
（債務負担行為 13,000 千円）

千葉県の 150 年間のあゆみと千葉県誕生 150 周年記念事業の記録をまとめた記念誌を作成します。

○姉妹州・友好都市等との交流推進事業〔再掲〕（国際課） 20,500千円

千葉県誕生150周年記念事業にあわせ、姉妹州・姉妹都市である米国ウィスコンシン州及びドイツのデュッセルドルフ市、友好都市である台湾の桃園市との交流事業等を行います。

○千葉のブランド形成推進事業〔再掲〕（地域づくり課、観光企画課） 225,000千円

千葉県誕生150周年記念事業にあわせ、テレビ、ラジオ、誌面広告による広報のほか、チーバくんを活用した情報発信等により、千葉の魅力を県内外に発信します。

○千葉県誕生150周年記念観光振興事業【新規】（観光誘致促進課） 150,000千円

千葉県誕生150周年を機に実施される各種イベントと観光分野の連携など、機動的に施策を実施するための予算を計上します。

○GOGO房総デジタルポイントラリー事業〔再掲〕（観光誘致促進課） 50,000千円

千葉県誕生150周年記念事業にあわせ、市町村が実施する記念事業やちば文化資産等をスポットとしたデジタルポイントラリーを実施します。

○訪日団体旅行客向けバスツアー支援事業〔再掲〕（観光誘致促進課） 2,541千円

千葉県誕生150周年記念事業への参加を目的に日帰り、または宿泊を伴う訪日団体旅行を造成する海外旅行会社に対して助成します。

○千葉県誕生150周年記念県産農水産物PR事業【新規】（流通販売課） 23,500千円

千葉県誕生150周年記念事業と連動して、県産農水産物のPRイベントを実施します。

[事業内容]

- ・オープニングイベントへの出展 8,500千円
- ・県産農水産物プレゼントキャンペーン 15,000千円

○産業系県立高等学校における千葉県誕生150周年記念事業【新規】（教育政策課）

1,500千円

千葉県誕生150周年記念事業にあわせ、産業系の県立高校で作成した生産物を各種イベントにおいて販売するほか、150周年をテーマとした課題研究・発表会等に取り組むなど、産業系県立高校の魅力発信を行います。

○特別支援学校における記念製品制作事業【新規】（特別支援教育課）

8,200千円

千葉県誕生 150 周年記念事業として、特別支援学校の作業学習等で記念製品を制作して販売するほか、インターネット上の仮想空間（メタバース）に特別支援学校のブースを設置し、郷土や学校の魅力等を紹介するバーチャルイベントを開催します。

○文化財を活用した郷土の歴史再発見事業（文化財課）

16,969千円

千葉県誕生 150 周年記念事業として、県内唯一の日本遺産である北総四都市に関する歴史や人物等を紹介するマンガを制作し、電子ブックで公開して授業で活用するほか、現地訪問につなげるプロモーションを実施します。

＜文化芸術の振興＞

○「ちば」の文化芸術発信事業（文化振興課） 20,000千円（R4 20,000千円）

伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、将来の文化芸術の担い手を育成し、優れた文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信する舞台公演を県民が参加できる形で行います。

[事業内容]

・日本の伝統芸能 5,000千円

青葉の森公園芸術文化ホールの能舞台において、邦楽演奏家による公演や、他ジャンルとのコラボレーションを行うなど、子どもから大人まで幅広い世代が気軽に伝統芸能に触れることができる機会を提供します。

・「ちば」の伝統文化 5,000千円

県内の郷土芸能団体等による実演を行うとともに、和楽器演奏体験等を実施し、本県の郷土芸能の魅力を発信します。

・歌舞伎×千葉交響楽団コラボレーションコンサート 10,000千円

日本の伝統芸能である歌舞伎と本県のプロオーケストラである千葉交響楽団によるコラボレーションコンサートや、子どもを対象とした、歌舞伎の所作や衣装の着用等を体験できるワークショップを実施します。

○千葉県少年少女オーケストラ育成事業（文化振興課） 40,934千円（R4 36,734千円）

千葉県少年少女オーケストラの育成のための経費を助成します。

[事業内容]

・少年少女オーケストラ助成事業 13,200千円

・運営費補助 27,734千円

○アーティスト・フォローアップモデル事業【新規】（文化振興課） 12,000千円
 （債務負担行為 16,000千円）

新たな分野で本県の将来の芸術文化の担い手を育成するため、優れた文化芸術活動を行う才能豊かな新進アーティストのキャリア形成を支援します。

[支援対象]・県内に在住、在学又は千葉県を活動拠点とする者

・39歳以下の者

[対象分野] 美術、デザイン、音楽、ダンス

[事業内容]

1 アーティストのキャリア形成に係る活動等の支援（伴走型）

[選考人数] 各分野1名ずつ 計4名

[支援内容] 資金支援に加えて人的支援（専門家によるサポート等）を実施

- ・1人あたり50万円（制作に係る資材費、機材費、会場使用料等）
- ・活動場所、機材や作品の保管場所等の紹介
- ・作品制作及びキャリア形成に関する助言

2 新たな創造に繋がる芸術活動の支援（テーマ設定型）

[テーマ] 東京の隣接性を意識しつつ、千葉の豊かな自然環境（海、里山、川、水辺）を活かす芸術創造活動

[選考人数] 各分野1名ずつ 計4名

[支援内容] 資金支援のみ

- ・1人あたり50万円（制作に係る資材費、機材費、会場使用料等）

○千葉交響楽団関連事業【一部新規】〔一部再掲〕（文化振興課）

81,747千円（R4 73,898千円）

千葉交響楽団の運営に対し助成するとともに、児童・生徒や県民を対象にした公演等を支援します。

県内唯一のプロオーケストラとして、県民から広く認知・支持されることで経営基盤を確立し、演奏活動等を通じて本県文化の発展に貢献できるよう、積極的に公演回数を増やしていくほか、令和5年度は、千葉県誕生150周年記念コンサートを開催します。

[事業内容]

1 運営費補助	24,676千円
2 定期・特別演奏会支援補助【新規】	4,000千円
3 学校における芸術鑑賞事業	27,250千円
4 県民芸術劇場公演事業	19,781千円
5 伝統芸能・洋楽ふれあい体験事業	1,040千円
6 千葉県誕生150周年記念コンサート【新規】〔再掲〕	5,000千円

○千葉県文化会館大規模改修事業（文化振興課） 802,072 千円（R4 198,769 千円）
（債務負担行為 175,000 千円）

建築後50年以上が経過し、建物の老朽化が進んでいる千葉県文化会館について、大規模改修工事を実施します。

[事業内容]

- ・大規模改修工事 594,320千円
- ・大規模改修工事監理業務等委託 51,957千円
- ・聖賢堂解体工事 121,100千円
(債務負担行為 115,000千円)
- ・備品一時保管業務委託 24,084千円
- ・擁壁改修工事实施設計委託等 10,611千円
- ・擁壁改修工事 (債務負担行為 60,000千円)

○中央博物館リニューアル事業（文化振興課） 35,000 千円（R4 5,000 千円）

中央博物館について、県内における博物館の活動拠点としての役割の強化に向けて、今後、施設の改修や展示の見直しを進めていくための基本計画を策定します。

[計画の内容]

- ・施設の機能強化
- ・展示の見直し
- ・収蔵品の集約 等

○文化財保存整備助成事業（文化財課） 55,000 千円（R4 55,000 千円）

文化財の適正な保存管理とその活用を図るため、国・県指定文化財の保存整備・修理等の事業に対して助成します。

[補助対象] 国指定文化財11件、県指定文化財7件 計18件

[補助率] 国指定文化財 国庫補助額を控除した額の1/2以内
県指定文化財 1/2以内

○国際境界模式地（GSSP）関係遺産保存活用等支援事業【新規】（文化財課）

30,000 千円

市原市に所在する国指定天然記念物「養老川流域田淵の地磁気逆転地層（チバニアン）」は、国際的な科学機関により承認を受けた世界水準の価値を有する貴重な文化財であるとともに、校外学習等での活用を通じて子供たちへの教育効果が期待できることから、露頭見学施設等の整備に対して助成します。

〔事業主体〕 市原市

〔補助対象〕 子供たちへの教育効果が特に期待できる露頭見学施設や園路等の整備

〔補助率〕 国庫補助額を控除した額の1/2以内

＜スポーツの振興＞

○千葉県競技力向上推進本部事業（競技スポーツ振興課）

212,000千円（R4 205,000千円）

本県スポーツ選手の育成・強化を図るとともに、スポーツを通じた活力ある地域づくりを推進するため、千葉県競技力向上推進本部が行う事業に対し助成します。

〔事業内容〕

- ・国体選手強化・サポート事業
- ・オリンピックアスリート強化支援事業
- ・ちばジュニア強化事業
- ・スポーツ医・科学サポート事業 等

○総合スポーツセンター体育館整備事業（競技スポーツ振興課）

158,678千円（R4 25,000千円）

（債務負担行為 160,000千円）

総合スポーツセンター体育館について、大規模大会が実施可能な競技スペースの確保や利便性の向上を図るため、現地での建替えに向けた設計を行います。

〔事業内容〕 基本設計等	89,000千円
地質調査等	69,678千円
実施設計（債務負担行為	160,000千円）

〔供用開始〕 令和10年度中（予定）

○ちばアクアラインマラソン開催事業（生涯スポーツ振興課）

49,000千円（R4 135,900千円）

（債務負担行為 137,000千円）

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力を発信するため、令和6年度の「ちばアクアラインマラソン」開催に向けて、運営方法の検討や大会開催の広報等を実施します。

〔開催日程〕 令和6年秋（予定）

○外房サーフィン振興事業【新規】（生涯スポーツ振興課） 10,000千円

東京2020大会のレガシーとして、本県でサーフィンを楽しむ人を増やすとともに、参加者と地域の交流やスポーツを核とした地域の活性化を促進するため、地元市町村等と連携して、サーフィン体験会やサーフ文化の発信イベントを開催します。

- [事業内容] ・サーフィン体験会 3,000千円
・体験会に併せたサーフ文化発信イベント 7,000千円

○国際スポーツ競技大会支援事業（生涯スポーツ振興課） 10,000千円

スポーツの振興を通じた地域活性化や、本県の魅力発信の契機とするため、県内で開催される国際競技大会に要する経費の一部を助成します。

[補助対象] 県内市町村又は県内市町村が構成員となる団体、国内競技連盟

[対象事業]

以下の条件を全て満たす大会

- ① 国際競技大会で次のいずれかに該当するもの
 - ・国際競技団体が主催する大会
 - ・国際競技団体が公認し、日本オリンピック委員会や、日本パラリンピック委員会等に加盟する団体が開催する大会
- ② 5か国以上が参加する国際競技大会であること
- ③ 3,000人以上の観戦が見込まれること、又は小中学生1,000人以上が大会に招待されること
- ④ 県民向けの体験会や地域住民と大会参加者の交流会など、地域貢献の取組が行われるもの

[補助率等] 開催経費の1/4以内（10,000千円上限）

○パラスポーツ振興事業（生涯スポーツ振興課） 52,600千円（R4 45,620千円）

東京2020パラリンピック競技大会のレガシーとして、パラスポーツの普及を図るとともに、障害のある人がスポーツに親しめる環境を整備します。令和5年度は、パラアスリート等の学校訪問について、派遣する学校を拡大します。

[主な事業]

1 パラスポーツフェスタ開催事業 7,500千円

障害のある人もない人も参加できる交流試合や体験会を開催し、パラスポーツの普及を図ります。

2 パラスポーツコーディネーター派遣事業 12,200千円

市町村や、地域のスポーツクラブ、障害者施設、競技団体、学校等が一体となって、パラスポーツの体験会や教室を開催する場合にコーディネーターを派遣して支援します。

3 パラスポーツ競技団体支援事業 5,200千円

パラスポーツを広く県民に周知するため、競技団体が実施する競技体験会等に対し助成します。

4 パラアスリート等学校訪問事業 11,855千円

県内の小中学校に加え、新たに県立特別支援学校にもパラアスリート等を派遣し、講演会やパラスポーツ体験会の実施を通じて、パラスポーツの普及を図ります。

○障害者スポーツ・レクリエーションセンター施設整備事業（生涯スポーツ振興課）

7,700千円（R4 3,300千円）

（債務負担行為 193,000千円）

障害者スポーツ・レクリエーションセンターの体育室において、利用環境の改善を図るため、空調設備を整備します。

[事業内容] 実施設計 7,700千円

空調整備工事（債務負担行為 193,000千円）

[完成予定] 令和6年度

○パラアスリート強化・支援事業（競技スポーツ振興課） 38,000千円（R4 30,450千円）

本県にゆかりのあるパラアスリートが競技力向上に励めるよう、世界選手権等に出場が期待される選手や、全国大会等で実績のあるパラスポーツチーム等に対し支援します。

（１）アスリート強化支援 36,900千円（R4 29,450千円）

[対象者] 県内の学校の生徒・学生、県内在住又は在勤者 等

[選考基準] 日本代表選手、国内最上位大会入賞者 等

[対象競技] パラリンピック実施の28競技

（２）パラスポーツチーム支援 1,100千円（R4 1,000千円）

[対象団体] 県内に活動拠点があり、全国大会等での実績のあるチーム・団体

[選考基準] 県の強化指定選手が所属するチーム・団体、
国内最上位大会で3位以内のチーム・団体 等

[対象競技] パラリンピック実施の28競技

[支援額] 100千円

○「新たなスポーツ」の普及促進事業（生涯スポーツ振興課）

14,000千円（R4 8,500千円）

あらゆる人がスポーツを楽しめるよう、ユニバーサルスポーツ(※1)やアーバンスポーツ(※2)、バーチャルスポーツ(※3)といった「新たなスポーツ」の普及促進を図ります。

※1…障害の有無や年齢などに関係なく、様々な人が一緒にできるレクリエーションの性質を含むスポーツ（ボッチャ、ペタンク等）

※2…広い競技場などを必要とせず都市の中でできる、若者の遊びから生まれたスポーツ（BMX、スケートボード等）

※3…身体運動に連携し、画面上のアバター（自分の分身）が動く等のスポーツ（バーチャルサイクリング、バーチャルフェンシング等）

[主な事業]

・ユニバーサルスポーツ	出張体験会の開催	1,000千円
・アーバンスポーツ	体験会の開催	2,100千円
	マナー啓発動画の作成	2,000千円
・バーチャルスポーツ	バーチャルサイクリング大会の開催等	8,000千円